無断転載・複写禁止©㈱日刊工業新聞社

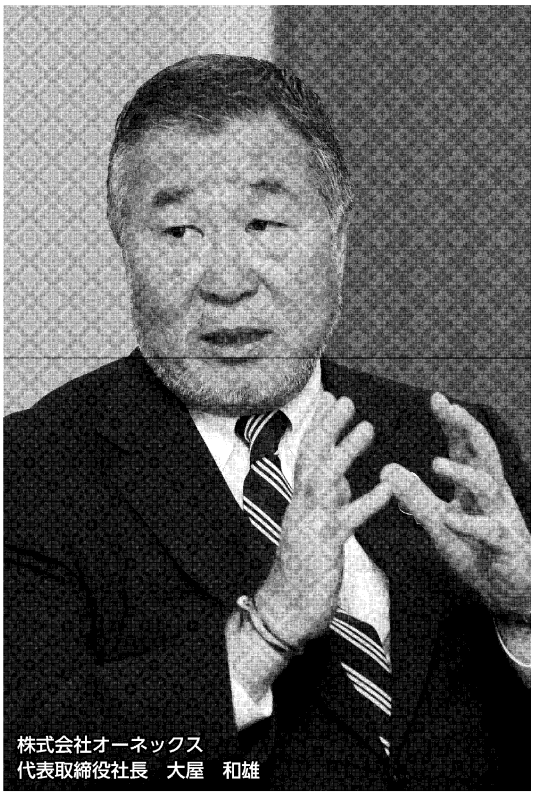


熱いおもいに支えられて65周年

ONEX 65th Anniversary

# 熱処理メーカーとして飛躍するオーネックス

オーネックスは今年創業65周年を迎え、11月13日に国内6拠点目となるオーネックステックセンター（三重県亀山市）を竣工した。成長が期待できる中部エリアの市場獲得、BCP対策と、子会社による就業形態の変革が目的だ。日本の産業基盤が集積する三大都市圏をフルカバーする体制が整った大屋和雄社長に、日刊工業新聞社社長の井水治博が今後のビジョンと戦略を聞いた。



株式会社オーネックス
代表取締役社長　大屋　和雄

## 新会社設立で三大都市圏カバー

**井水**　今年創業65周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

**大屋**　当社は神奈川、埼玉、長野、山口に拠点を持ち、名古屋と大阪のお客様は関東へ、大阪のお客様は山口に製品を運ぶので、トラックで4、5時間はかかります。お客様からは運送費の下げ、仕掛品を少なくしたい、短納期などの要請があり、中部・関西地区の製造拠点を作る必要がありました。もう一つの背景は、熱処理組合は東部、中部、西部にあり、今から20年前は関東地方の組合員の売上が一番高かった。直近では西部が一番、中部が2番、東部が3番と逆転してしまった。関東地方には自動車、建機、工作機械などの企業が集中している一方、円高とともに部品メーカーの海外移転が進み、仕事量全体が落ちてしまいました。ところが中部の名古屋は自動車産業が堅調で、直近でも最高益を出されている。西部の大阪もいろんなジャンルがありますが、三菱重工業、川崎重工、コベルコなど大きなマーケットがあり比較的堅調です。伸びているところに工場を作った方がいいだろうということが二つ目の理由です。さらにもう一つは為替の影響があります。一時は1ドル＝76円～77円ぐらいになり、海外進出が活発化しました。しかし現在は1ドル＝120円レベルで、こうなると日本で作ったほうがいいということになります。ある大手の自動車部品メーカーは、トランスミッションの製造を5年間で4割増加させる計画を公表していますが、信頼性の高い国内で製造する予定だと聞いております。また熱処理業は寝ずに炉を動かします。最新の設備を導入することで、別会社にして労働形態も新たなものにして、人件費を抑えることも狙いです。

## バランス良く600社と取引

**井水**　熱処理加工といえば工業の根幹を支える技術です。半世紀以上も事業を続けてこられた最大の要因はなんでしょうか。

**大屋**　熱処理業は大きい炉を持っていれば、その中に入るモノであれば何でもできます。またホテル業と似ていて、いかに炉を埋めるかというのが商売のエッセンスです。詰めれば詰めるほど効率が上がり、打たれ強いビジネスといえるでしょう。一方、品質についてはシビアな世界で、品質保証システムではISOはもちろんのこと、自動車規格では当社が昨年取得したTS16949という米ビッグスリーに対して品質保証システムがあり、それを取得すると航空機産業向けの熱処理ができるようになります。当社はバランス良く、自動車、建設機械、工作機械、航空宇宙、防衛産業など、約600社とお取引させていただいています。

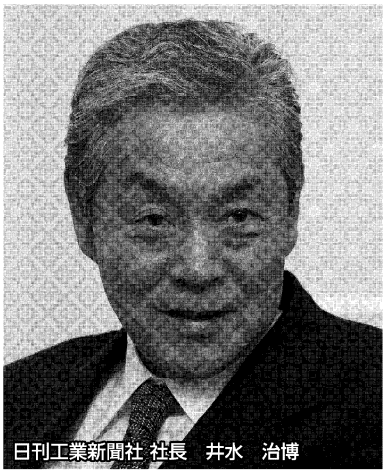
## エネルギー政策に関する要望

**井水**　5月に第10代東部熱処理工業組合理事長に就任されました。業界活性化の課題と対策についてお聞かせください。

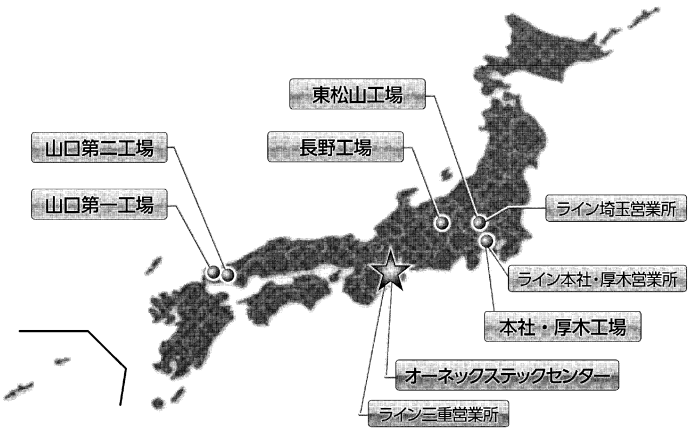
**大屋**　TPPの関係があります。業界的には関税がなくなるので楽になりますが、無税になる分、12カ国と競争しなければいけない。そこで一番大きな要素になるのが電気料金です。電気料金は世界の中でも日本が一番高い。やはり安全審査を通った原発は可及的速やかに動かしてほしい。鉄鋼業界など素形材の関係の11団体と一緒に、環境省、経済産業省に原発稼働のお話をさせていただいています。

**井水**　産業界としてはそうした要望をよくお聞きします。特にエネルギー多消費型産業においては生きるか死ぬかの問題です。鋳物、電炉業界もそうですし、幅広く基盤の部分で産業を支えているところが、エネルギー多消費型です。動かせる原発を速やかに動かすことが選択としては一番現実的な方法です。

**大屋**　国際競争力が落ち、最終的に物作りが衰退してしまうということになる。原発に反対している人は日本国内の原発だけ止めればいいと思っています。中国、台湾、韓国には古い原発がたくさんある。近隣諸国の原発に何かあれば日本直撃になる。国内だけ議論するのではなく、近隣諸国を含めた安全基準のようなものをインターナショナルで進めていかなければいけないと思います。



日刊工業新聞社 社長　井水　治博




## 熱処理のベストミックス戦略目指す

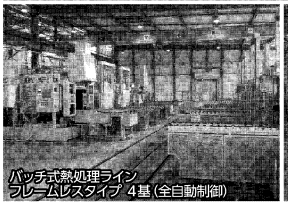
**井水**　今年創業65周年を迎えられました。これからの100年に向けてどのような企業を目指すのか、ビジョンをお聞かせください。

**大屋**　当社は風力発電の仕事もやっています。風車は羽がついて後ろに増速機という歯車が入っている。増速機はゆっくりの回転を高回転にするもので、逆向きに使うと減速機になります。車でいうとトランスミッション、船でも同じ機構があります。リーマンショック、シェールガスの台頭、原油安の影響を受け、エネルギービジネスは二転三転し、風車は蚊帳の外になってしまった。しかし現在は、福島の再生可能エネルギーということで、洋上風車が検討されています。また北海道、東北の山間部向けがようやく動き始めたところです。幸い、国内大手で大型風車を製造しているのは三菱重工と日立製作所で、いずれも減速機の熱処理は当社でやらせていただいています。今後、原発だけでなくエネルギー供給のバランスを考えて再生可能エネルギーを活用したベストミックスを考えていく必要があるのではないでしょうか。

もう一つのジャンルはロボットです。摺動部の部品の熱処理を行っております。そこには特別な熱処理が必要だということで、緒に開発しています。防衛産業も米国を見ていると相当テクノロジーレベルが上がり、産業自体が一大産業です。日本も防衛省になり予算を増やしています。特別な機器もたくさんあり、特別な熱処理が必要なものもあります。国防関連産業は今後伸びてくる可能性はあると思います。

**井水**　米国はロボットも軍事技術からきており、最近話題のドローンもそうです。軍事技術からの広がりがイノベーションの大きな柱の一つになっています。御社の品質に対する高い意識と技術力をバネに、さらなる発展を期待しております。ありがとうございました。

三重県亀山市に竣工したオーネックステックセンター



バッチ式熱処理ライン
フレームレスタイプ 4基（全自動制御）

ピット型浸炭炉 2基

http://www.onex.co.jp/

ONEX 株式会社オーネックス
〒234-0801　神奈川県厚木市上依知3012-3
TEL：046-285-0600　FAX：046-286-4797

東松山工場　〒355-0071 埼玉県東松山市新郷88-23
TEL：0493-24-2931　FAX：0493-24-3320
長野工場　〒386-1212 長野県上田市富士山2416-10
TEL：0268-38-8010　FAX：0268-38-8915

山口工場（第一工場）〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井1366-2
TEL：0836-73-1311　FAX：0836-72-2084
山口工場（第二工場）〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井字新山野井3880-3
TEL：0836-73-1311　FAX：0836-72-2084

オーネックステックセンター／オーネックスライン三重営業所　〒519-0169 三重県亀山市白木町字押之尾60-28（亀山・関テクノヒルズ工業団地内）　TEL：0595-97-3270　FAX：0595-97-3277